

年度	学年	教科等	指導案URL	資質能力	児童・生徒の姿	指導の具体
R4	小2	生活	<a href="#">④小学校指導案(生活科).pdf</a>	授業構想力	○1年次に創り出した遊び方を生かして、牛乳パックでも遊びを創り出していた。また、新たに「たたく」という遊び方が創り出された。	共通素材の牛乳パックを用いて、1年次の「くさばなステージにあつまろう」での遊び方の広がりを生かした単元を構成した。
R4	小2	生活	<a href="#">④小学校指導案(生活科).pdf</a>	授業構想力	○同じ素材から多様な遊びを創り出すことができることに気付いたり、遊びそのものを創り出す面白さを味わったりしながら活動できていた。	児童が対象と関わる場面や児童同士で関わる場面がより生まれやすくするために、「つくる」→「お試し遊び」→「つくる」→「お試し遊び」を繰り返して行うことができる単元を構成した。
R5	小1	生活	<a href="#">05_生活科学学習指導案.pdf</a>	授業構想力	○「たんけんメモ」に、探検した場所で見付けたことや気付いたこと、先生やお兄さん、お姉さんにインタビューして分かったことなどを、絵と言葉で簡単に表現していく姿が見られた。	「たんけんメモ」を活用した。大きさがワークシートよりも小さいため、かく内容が自然と狭まり、より多くのものや気付きを見付けることができるようにした。
R5	小1	生活	<a href="#">05_生活科学学習指導案.pdf</a>	授業構想力	○関わることの楽しさや調べたい場所のよさに気付き、自ら学ぼうとする意欲を高めることができた。	5月から12月の長期にわたって扱い、調べたり伝えたりする活動を繰り返し行った。
R6	小2	生活	<a href="#">05_1_生活科学学習指導案.pdf</a>	授業構想力	○インタビューをしたお店や施設の位置感覚を味わいながら楽しんで活動している姿が見られた。(実際に距離のあるお店からお店へ移動していた児童は、「遠かった。疲れた。」と言っていた。	ジョイントマット(お店や施設)や平均台(陸橋)などを使って、体育館の半面に調べた通学路を表現した。
R6	小2	生活	<a href="#">05_1_生活科学学習指導案.pdf</a>	授業構想力	○「たんけんメモ」を使って、分かったことや気付いたことなどを友達に積極的に伝えることができていた。「たんけんカード」の絵を指し示しながら、伝えるだけでなく、質問に丁寧に答えている姿も見られた。	昨年の学校探検の単元でも活用した「たんけんメモ」の大きさを2倍にした。ジョイントマットの上に、「たんけんメモ」にかいた絵を表にして置くことで、絵を見せながら、相手に分かりやすく伝えることができるようにした。(絵の裏面には、その絵に関する短い言葉で書くようにした)
R4	小2	生活	<a href="#">④小学校指導案(生活科).pdf</a>	授業実践力	○教師がカーテンを開いた途端、大量の牛乳パックを目の前にし、牛乳パックのプールに飛び込んだり、寝転がったり、高く積み上げたりするなど、とても興奮していた。	第一次で、教室よりも広い東雲ホールへ行き、大量の牛乳パックと出会う場面を設定した。
R4	小2	生活	<a href="#">④小学校指導案(生活科).pdf</a>	授業実践力	○同じチームの中に悩んでいる友達がいることを知った児童は、「○○すればいいんだよ。」とアドバイスを送り、悩んでいた児童は「ああ、そうか。」と児童が関わり合うことで悩みを解決することができていた。 ▲同じチームの友達に声をかけてもらっても、なかなかおもちゃづくりが進まない児童もいた。	おもちゃをつくっていく中で、悩んでいる児童に、「同じチームの友達に聞いてみたらどうかな。」と伝えることで、友達の思いを考えるきっかけをもつことができるようにした。
R5	小1	生活	<a href="#">05_生活科学学習指導案.pdf</a>	授業実践力	○チームで話し合いながら、「みんなでのしくしのめ小ツアー」で伝えたいことをまとめている姿が見られた。	チームごとに班机にしたり、探検メモやホワイトボードを使ったりしながら活動できるようにした。児童の思いを引き出す言葉がけを行った。
R5	小1	生活	<a href="#">05_生活科学学習指導案.pdf</a>	授業実践力	○伝え方を工夫したり、伝えることで喜びを感じたり、新たな気付きが生まれたりする姿が見られた。	クラスの友達や2年2組の児童、保護者などに、調べたことを伝えていく経験を繰り返し行った。
R6	小2	生活	<a href="#">05_1_生活科学学習指導案.pdf</a>	授業実践力	○様々なお店や施設の「あんしんポイント」を見つけている姿が見られた。他のチームで見つけたしのめ町の「いいね」を交流する場では、児童の目の前に「たんけんメモ」がなくても、どのチーム(お店や施設)のどんなところが「あんしんポイント」だと思ったのかを伝えることができていた。	各チーム、事前に必ず伝えたいことを決めてまとめておいた。 赤白帽子を使って、伝える人は赤、聞く人は白にすることで、児童同士が声をかけ合うことができるようにした。 「あんしんポイント」は、必ず伝えるようにすることで、共通の視点をもって活動できるようにした。
R6	小2	生活	<a href="#">05_1_生活科学学習指導案.pdf</a>	授業実践力	どんな質問をされても、各チームの伝える側の児童は、生き生きと答えることができていた。たくさんの方が驚いてくれたり知ってくれたりすることに満足そうな様子であった。	各チームのこだわりを引き出すことができるように、「みんなが知って驚いたことは何ですか。」「あんしんポイントは何ですか。」などの声かけをした。

R4	小2	生活	<a href="#">④小学校指導案(生活科).pdf</a>	授業分析・評価力	○「お試し遊び」後のワークシートには、「○○くんがアドバイスをくれたから、もっと楽しい遊びになりました。これからもっともっと楽しい遊びにしていきたいです。」や「みんなが楽しめるように、いろいろな工夫をしていきたいです。」や「1年2組さんと2年1組さんに楽しんでもらえるように、もっとレベルアップさせていきたい。」などのように、新たな気付きや思いをもつことができていた。	「お試し遊び」をした後は、ワークシートに気付きや思いを記述する時間を設けることで、児童の思いや願いをくみ取ることができた。単元計画を修正して、おもちゃを作製する時間を増やした。児童の気付きや思いをクラスのみみんなに広げた。
R5	小1	生活	<a href="#">05 生活科学 学習指導案.pdf</a>	授業分析・評価力	○調べている場所のよさや関わることの楽しさに気付いている姿が見られた。	児童の思いを受け止め、先生にインタビューに行く機会を2回設定した。
R5	小1	生活	<a href="#">05 生活科学 学習指導案.pdf</a>	授業分析・評価力	○話し合いながら、「みんなでのしくしのめ小ツアー」で伝えたいことをまとめている姿が見られた。	「どうしてこれを伝えようとしたのですか。」 「みんなが知って嬉しかったことは何ですか。」などの児童の思いを引き出す言葉が行った。
R6	小2	生活	<a href="#">05_1 生活科学 学習指導案.pdf</a>	授業分析・評価力	東雲の町は、賑やかであり安心して過ごせる町として捉えていた。また、これからは、昨年度学校探検の学習でお世話になった先生方を招待して、「次は自分たちが東雲の町について調べたことを伝えていきたい。」といった思いをもつことができていた。	「東雲の町ってどんな町だと思いますか。」「これからどうしたいですか。」と問いかけた。